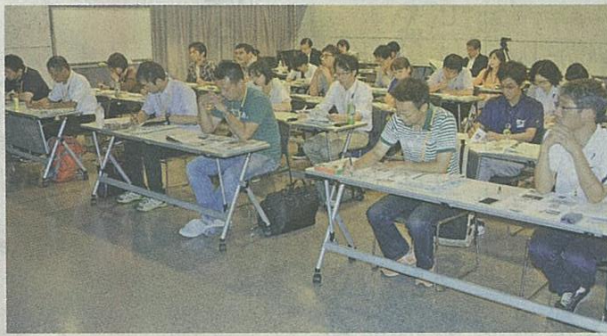


中心市街地活性化の取り組みについて理解を深めた「地方創生実践塾」11日、はっち



中心街再生「はっち」例に

一般財団法人・地域活性化センター(東京、椎川忍理事長)主催の「地方創生実践塾」が5日、八戸市の「はっち」で始まった。全国各地から24人が受講、はっちを核とした中心市街地の活性化などの取り組みについて学んでいる。6日まで。

八戸で地方創生実践塾

全国24人学ぶ

同塾は先進的な取り組みを行う地域を開催地として開かれるセミナー。本年度は全国10カ所で予定しており、今回は静岡県三島市に次ぐ2カ所目の開催。

初日の講義は、市まちづくり文化スポーツ観光部の風張知子部長

と、はっち主任コーディネーターの柳沢拓哉さんが講師を務め、はっち建設の背景や経緯、意義をはじめ、さまざまな取り組みの成果など紹介。風張部長は「はっちはこれまでに類のない地域活性化の施設であり、市民一丸で創り上げていく新しい公共施設だ」と強調した。

福島県から参加した白河市職員の深谷剛さん(41)は「現在交流施設の建設を進めている。講義は納得できる内容で、今後の参考にしたい」と話していた。

最終日は八戸学院大の田中哲教授、アーティストの山本耕一郎さん、八戸せんべい汁研究所の木村聡事務局長の講義が予定される。

(水野大輔)